



施政方針

令和5年第2回市議会定例会で関市長が発表した「施政方針」から、本市が目指す方向性と今年度の取り組みをお伝えします。

第7次鹿角市総合計画

ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角

市政を推進するため、公約である「市民との対話」を通じて、さまざまなご意見やご提言をいただくとともに、国や県、関係市町村との広域的な連携や交流により、未来のまちづくりに向けて種を撒いてきました。市民や地域とのつながりを大切に育みながら、芽吹いた政策をさらに力強く育て、着実に花を咲かせることで、将来都市像「ふるさとを誇り未来を拓くまち 鹿角」の実現を目指します。

基本戦略 1
活力を生む地域産業・生業を支える

■地域産業の振興

市内事業者の労働生産性の向上を目指した取り組みを強化するため、

DX導入や新事業進出などを支援します。また、ICTを活用した副業を促進するほか、女性・若者の資格取得支援などにより、キャリアアップと所得の向上を図ります。さらに、地元就職の促進や、企業の求人活動にかかる費用の助成に加え、新たに、大学生のインターンシップ受け入れにかかる宿泊・旅費などを支援することで、人材確保に向けた取り組みを進めます。

■農林業の振興

農業者の高齢化と労働力不足に対応するため、スマート農業のさらなる普及を図るとともに、JAかづのと連携したマッチングアプリの活用により、幅広い年齢層から農業に携わる人材を確保することで、経営基盤の維持・拡大を図ります。また、

鹿角市農業農村支援機構を核とした経営サポートにより経営の効率化を図るとともに、中心経営体へ農地を集積・集約化することで、農業経営体の育成と競争力を高めます。林業においては、航空レーザ計測による森林資源解析など、森林経営管理のデジタル化を推進し、森林経営管理制度を効果的に運用します。また、自治体間の連携強化を図るとともに、事業体のビジネスマッチングや協業化を促進し、市有林認証材のブランド化を目指します。

■農林業の担い手育成と定着支援

農業法人へのインターンシップや、新規就農者研修支援事業奨励金により、新規就農と早期の経営確立に向けたサポートを充実させ、新規

就農者の定着を支援します。また、地元林業事業体への就職を志して秋田県林業大学校に入学する学生を対象に、受講料全額と研修時の家賃を支援することで、林業の担い手を育成し、地域林業の活性化を図っていきます。さらに、林業事業体の新規雇用や、安全装備品の購入を支援し、労働環境の向上を図ります。

■農業生産基盤の整備

毛馬内北部地区における基盤整備事業について、関係機関と連携しながら事業推進に取り組みます。また、県営事業で整備が進められている花輪大堰や八幡平の一の渡頭首工のほか、令和5年度に事業採択が予定されている末広頭首工などの整備について、県と連携し、関係者の方々の理解を得ながら進めていきます。

基本戦略 2
元気で健やかな暮らしを支える

■健康意識の高揚と生活習慣病予防の推進

市民の健康に対する意識改革と動機づけにより運動習慣の定着を図るため、新たに健康セミナーを開催します。

■医療従事者の確保と病院機能の充実

医師修学資金貸与制度や医療機関開設資金支援事業を継続し、将来、本市で医療に従事する人材の確保に努めるとともに、かづの厚生病院の産科医療に必要な機器整備の支援を行います。

■母子保健の充実

妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型の相談支援とともに、出産・子育て応援給付金による経済的支援を一体的に行い、支援体制のさらなる充実を図ります。

■出会い応援と結婚支援

独身男女の出会いの場の創出と、

基本戦略 3
快適で安らぎのある暮らしを守る

■水道水の安定供給

浄水場と配水池の設備更新のほか、山根前田地区や下花輪地区などにおいて老朽管更新工事を実施し、将来に向けて浄水設備や水道管を適切に維持していきます。

■生活排水対策

八幡平小豆沢地区の農業集落排水施設を公共下水道へ接続するための管渠敷設工事を進めるとともに、公共下水道整備認可区域外の生活排水処理対策として、合併処理浄化槽の設置に要する費用の助成対象範囲を拡充します。

■安全・安心な住まいづくり

高井田住宅の外壁補修工事などの長寿命化対策を進めるほか、家庭での脱炭素化に資する取り組みとして、新たに断熱改修を伴うリフォームを支援します。

■空き家などの適正管理の推進

空き家所有者に対する適正管理指導や危険老朽空き家の解体費用助成を継続するほか、空き家をめぐる諸課題に対応していくため、空き家実態調査を実施し、空き家件数や老朽化の状態を把握します。

■公共交通手段の維持確保

「鹿角市地域公共交通計画」に基づき、市民にとって利用しやすく、将

基本戦略 4
暮らしの安全・安心を高める

■防災・減災に向けた対策

地域住民による自主防災組織の育成と組織力強化への支援を継続することで、防災意識と地域防災力の向上を図ります。また、道路橋の点検や補修などの橋りょう長寿命化対策のほか、河川整備事業や急傾斜地崩壊対策事業などの防災インフラの整備を推進します。

また、昨年8月の大雨による被災を踏まえ、河川の良好な状態を維持していくため、市が管理する河川の土砂の堆積状況や護岸の整備状況などの現況調査を行い、河川台帳の整備を進めます。

さらに、近年台風などによる倒木で大規模停電が長期化し、住民生活に大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、倒木による停電被害の未然防止のため、「災害時の協力に関する協定」に基づき、東北電力株式会社と連携し、樹木の事前伐採に取り組みます。